

**横浜市日野南コミュニティハウス
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録**

開催日時	令和元年8月19日（月） 13時30分から 15時00分まで
開催場所	港南区役所 601 会議室
出席者	藤崎委員長、上田委員、谷本委員、宮田委員、吉岡委員（計5名）
傍聴者	4名
議題	はじめに（横浜市日野南コミュニティハウスの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <応募団体A 一般社団法人こうなん区民利用施設協会> <ul style="list-style-type: none">・管理運営する10施設の情報共有及び情報交換を行い、業務改善を行っていく。・職員研修や人事異動の実施により、より質の高い運営を目指す。・コミュニティハウスには「つながりづくりの場」としての役割が期待されており、具体的には異世代交流の場・子育て支援の場づくり等を推進する。・利用者サービスの向上では、一歩先ゆくサービスを目指して、図書の貸出し・ウォーキング歩数計の電池販売等を開始する予定。・一般男女の利用割合が他のコミハより少ないため、来館したことがない方や子育て世代の利用促進策を充実していきたい。・自主事業では、来年度開館10周年記念事業として、「日野南ふれあい祭り」「日野南ふれあいライブ」の開催を考えている。・収入計画では、参加者数増により自主事業収入を向上させるとともに、物品販売の範囲を広げて雑収入の増加も目指す。 【主な質疑応答】 <委員> インターネットでの部屋予約の受付はいつから導入の予定か。 <回答> 来年4月から、当団体が管理している地区センター3館で導入予定。その状況を見て具体的な導入時期を決めたい。 <委員> インターネットでの部屋受付予約を開始した場合、受付方法がインターネット・来館・電話の3通りになるが、優先順位はどうなるのか。 <回答> 申込の方法によって不利にならないよう対策していきたい。 <委員> 役員11人・職員93人の組織の中で、常勤職員と非常勤職員はどれぐらいいるのか。また各々の業務内容は何か。

〈回答〉

職員 93 人のうち、正規職員は 17 名で、各館の館長・副館長、事務局職員を務めている。また非常勤職員は各館の窓口に配置している。

〈委員〉

現状の人員体制でどれぐらいの施設の管理を受けることができるか。

〈回答〉

現状は 10 施設でギリギリの状況。運営する館の増減により人員も増減させる。

〈委員〉

自主事業実施の際には通常より多くの人員が必要になると思うが、どのように体制を組んでいるのか。

〈回答〉

アルバイトを増員するほか、夜番の職員に早めに来てもらう等で対応している。

〈委員〉

収入から見た人件費の割合が多く、人件費の削減が難しい中で自主事業の収入増に向けた対策が必要と思うが、具体策は。

〈回答〉

自主事業の参加費は材料費相当分に抑え、多くの参加者を集めることで収入増を図っていききたい。

〈委員〉

雑収入の増加に向けた具体策は。

〈回答〉

現状の館内でのコーヒー・補助食品の販売、印刷機・コピー機収入に加え、今後はウォーキング歩数計の電池販売を実施していきたい。

〈委員〉

自主事業の中で講師謝金を支払っていない事業があるがなぜか。

〈回答〉

企業の地域貢献、市・区との共催事業の場合が該当する。

〈委員〉

一般男女の利用率が他のコミハと比べて低いが、改善策は。

〈回答〉

図書の貸し出しを行っていないので、今後行うようにしたい。

〈委員〉

具体的な貸出日数等の設定はどうするのか。

〈回答〉

蔵書の冊数を増やしながらかえていきたいが、他館で行っている 2 週間で 4 冊というのが目標になる。

〈委員〉

利用率等の目標数値として設定しているものは。

〈回答〉

30 年度の部屋利用率は午前 82%、午後 88%、夜間 40%の平均 78%と高い水準。一般男女の利用増加策を行う中で夜間の利用率を増やせればと考えている。一方で利用人数は伸び悩んでおり、図書の貸出し開始等で 1,000 人位伸ばせればと考えている。

	<p>〈委員〉 自主事業の中で夜間に開催を考えているものはあるか。</p> <p>〈回答〉 夜間開催には運動系よりも講座形式の事業が適していると考える。</p> <p>2 審議</p> <p>第3期横浜市日野南コミュニティハウスの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、一般社団法人こうなん区民利用施設協会を指定候補者として選定した。</p> <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な運営を行っており、特に悪い点は見受けられない。一方で新規利用者の増加に関する取組について、より具体的な提案があるとよかった。 ・全体として堅実な経営を行っているが、収入水準が低いこと、一般男女の利用が少ないこと、人件費割合が高いことが課題である。 ・以前よりも組織規模が大きくなっているため、一般論としては運営にきめ細かさを欠く心配があるが、今回特にそういった点は見受けられなかった。一方で増収のための取組についてより具体的な提案があるとよかった。 ・地域住民の目から見ると、地域にはとても協力的である。一方で収入が少ないので、自主事業での収入増や雑収入の増加策を考えたほうがよいと思われる。 ・現在指定管理を受託している強みを生かした提案がされており、また自主事業の対象を広げようとする姿勢も良いが、一方で子育て世代と高齢世代両方の利用増を目指すのはコミハのキャパシティを考えると厳しいのではないかと。
審議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市日野南コミュニティハウス指定管理者の指定者とする（585点/750点）。
特記事項	特になし